

九州・沖縄地区の外食産業売上高ランキング (2022年度)

2022 年度の売上高合計は前年度比 24.8%減**～ 損益が改善した企業、時短協力金もあって前年度比 2 社増の 28 社～**

はじめに

一般社団法人日本フードサービス協会が 2023 年 1 月に発表した 2022 年（令和 4 年）の外食産業の市場動向調査によると、合計売上高前年比 13.3%増となったが、19 年比では 5.8%減とコロナ前の売上を回復していない。3 月のまん延防止等重点措置による営業制限が解除後も、夜間の外食需要と企業の大口宴会需要は戻らない状況が続き、業態間に明らかな差が見られ、テイクアウト・デリバリーに加え、注文方法の多様化などから「ファストフード」が好調を維持するなど、飲食店業界内においても明暗が分かれているのが現状だ。

帝国データバンク福岡支店では、企業概要データベース「COSMOS2」（約 147 万社収録）から、九州・沖縄地区（以下、九州）に本社を置き、外食事業を主業とする企業を抽出。売上高上位 50 社の 2022 年度（2022 年 4 月期～2023 年 3 月期）の売上高や税引き後利益、その伸び率などをまとめた（売上高には一部推定を含む）。

なお、本調査でいう「外食」には、レストランなど飲食店における「飲食」事業をはじめ、持ち帰り弁当や宅配サービスなど料理品小売業に分類される「中食」事業、病院・福祉施設などにおける「給食」事業も含めて集計した。

本調査は 2022 年 11 月（2021 年度調査）に続く 23 回目。

調査結果（要旨）

1. 2022 年度の売上高ランキングは、ファミリーレストラン「Joyfull」を展開するジョイフルグループ（福証、大分市）がトップ
2. 2022 年度の売上高伸び率ランキングは（株）ディーズプランニング（那覇市）がトップ。以下、（株）Be bloom（福岡市）、（株）タケノ（福岡市）と続いた
3. 売上高上位 50 社の 2022 年度の合計売上高は前年度比 24.8%減の 3049 億 500 万円と、3 年連続で減少した
4. 前年度売上高との比較が可能な 48 社のうち「増収」企業は 39 社（構成比 81.3%）となり、4 年ぶりの 30 件台。他方、損益が改善した企業は前年度比 2 社増の 28 社（構成比 58.3%）となった
5. 倒産（法的整理のみ、負債 1000 万円以上）件数は、前年度比 14.0%増の 49 件（6 社増）となった。コロナ関連融資等の返済開始もあって、前年度を上回った

1. 売上高ランキング [50位までのランキング表は末尾掲載]

2022年度の売上高ランキングでトップは、**ジョイフルグループ(福証、大分市)**。ファミリーレストラン「Joyfull (ジョイフル)」を展開し、グランドメニューの改定を2回、「夏フェア」などのフェアを6回行った。また、有名YouTuberヒカルがアンバサダーに就任し、「ヒカル考案冗談抜きで旨いシリーズ」を開発したほか、コラボレーション商品はスーパーやドラッグストア、通販サイトでも販売した。ただ、既存店舗の閉鎖などもあって前期比2.9%減の419億2500万円となった。

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング上位10社(2022年度)

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
1	2	※ ジョイフルグループ各社合計	大分市	飲食	ファミリーレストラン「Joyfull (ジョイフル)」	6	41,925	▲2.9%
2	3	(株)一蘭	福岡市	飲食	ラーメン店「一蘭」	12	17,167	11.4%
3	4	(株)ヒライ	熊本市	中食	持ち帰り弁当店「おべんとうのヒライ」、讃岐うどん丼処「麺許皆伝」	5	15,576	2.5%
4	11	(株)イーティーズ	福岡県新宮町	中食	量販店内での惣菜・弁当小売	8	15,138	-
5	7	(株)ウエスト	福岡市	飲食	うどん・そば店、焼肉店「WEST (ウエスト)」	2	14,590	20.2%
6	6	JR九州ファーストフーズ(株)	福岡市	飲食	「カンクキーフライドチキン」「ミスタードーナツ」「エスパーカー」「シャトルバス」各FC	3	14,489	17.6%
7	5	東洋食品(株)	北九州市	中食	量販店内惣菜店「味処 花咲」「四季の創菜旬」「花小町」「味花」	11	13,494	3.3%
8	10	(株)力の源カンパニー	福岡市	飲食	ラーメン店「一風堂」、「名島亭」	3	11,875	21.4%
9	9	梅の花サービス(西日本・東日本・九州)	福岡県久留米市	飲食	飲食店「湯葉と豆腐の店 梅の花」	4	10,249	4.7%
10	-	なべしま(鹿児島・熊本・福岡・沖縄)	鹿児島市	飲食	焼肉レストラン「焼肉なべしま」	5	8,132	▲0.3%

(売上高には推定値を含む)

※ (株)ジョイフルは、2016年1月に直営店舗の事業部門を11の地域子会社に分割譲渡、持ち株会社へ移行した。売上高は、(株)ジョイフルおよび各地域子会社の直営店販売実績合計(有価証券報告書記載)。

※ (株)イーティーズは、2021年に決算期を2月から8月に変更したため、前年比伸び率は算出できない。

2位は、天然とんこつラーメン専門店を展開する**(株)一蘭(福岡市)**。前期に12市町村へのふるさと納税返礼品に登録したことで、各種セット商品の販売が増加したが、前期に爆発的な売れ行きとなったカップ麺の反動減によって、物販事業は前期比で減収となった。ただ、3店舗を閉店したものの、前期に新規出店した「仙台駅前店」、「岡山下中野店」に加え、新規出店した「水戸店」、営業を再開した「天神店」が売り上げに寄与した。また、訪日観光客、旅行支援による国内観光客の来店が増加し、店舗事業は前期比増収となり、前期比11.4%増の171億6700万円となった。

3位は、持ち帰り弁当店「おべんとうのヒライ」、讃岐うどん丼処「麺許皆伝」を展開する**(株)ヒライ(熊本市)**。店内飲食の利用は回復傾向となったが食料品、飲料品の販売は伸び悩み、食料品・飲料品小売部門は前期比微減となった。中核店舗である「おべんとうのヒライ」は、落ち込んでいたディナータイム時の店内利用が前期より伸長。加えて、低コストで出店できる「おべんとうのヒライ Jr」をドラッグストアなどで展開したことや、イベントの再開や規模の拡大もあり、弁当・総菜・調理品部門は前期比増で、年売上高は前期比2.5%増の155億7600万円となった。

2. 売上高伸び率ランキング

2022 年度の売上高伸び率ランキングでトップになったのは、売上高ランキング 27 位の **(株) ディーズプランニング (那覇市)**。「やっぱりステーキ」をメインに「やっぱりちゃん」「そばよし」などの店名で飲食店を運営している。令和3年9月に緊急事態宣言が解除となり、既存店舗の集客状況が回復したことや、FC店舗を3店舗引き取ったことで直営店舗数も増加。また、前期途中よりFC店舗向けの食肉卸を開始したことや、FC店舗の増加によるロイヤリティー増もあって、前期比 134.5% 増となった。

2 位には、売上高ランキング 36 位の **(株) Be bloom (福岡市)** が入った。「あや鶏」などの店名で、個室主体の居酒屋を展開している。スタミナ肉専門店の閉店があった一方、「馬かもん」熊本屋台村店、「八州」長崎駅前店の新規オープンに加え、「あや鶏」熊本光の森店を「鶏ま乾杯」熊本光の森店に業態変更するなど、積極的な店舗展開により、全営業店舗を 43 店に伸ばした。さらに、新型コロナウイルス感染拡大が落ち着きを見せたことにより、一般個人による外出機会が大幅に増加し、各店舗の売り上げが大幅に増加。鶏料理中心の店舗を中心に売り上げを伸ばし、前期比 115.5% 増となった。

3 位は、売上高ランキング 18 位の **(株) タケノ (福岡市)**。北部九州地区を中心に「竹乃屋」の屋号で飲食店を経営している。外出制限もなく、仕入価格の高騰分は値上げで対応しており、客単価についても前期に比べ増加した。加えて、期中の新規出店やメディア露出から集客の改善に繋がり、増収推移となった。また、通信販売でもふるさと納税向けだけでなく、リピーターからの受注を堅調に確保し受注増となり、前期比 86.5% 増となった。

九州・沖縄地区 外食産業売上高伸び率ランキング上位10社(2022年度)

伸び率順位	全体順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
1	29	(株) ディーズプランニング	沖縄県那覇市	飲食	ステーキ店「やっぱりステーキ」「やっぱりちゃん」「そばよし」	7	3,019	134.5%
2	40	(株) Be bloom	福岡市	飲食	居酒屋「あや鶏」	2	2,371	115.5%
3	18	(株) タケノ	福岡市	飲食	居酒屋「竹乃屋」「博多ビストロタケノ」	3	4,898	86.5%
4	31	森永食研(株)	大分市	給食	老健施設、医療法人などを主要得意先とした冷凍食品の製造	3	2,913	76.7%
5	43	(株) ハーバーハウス	福岡市	飲食	居酒屋「釣船茶屋さうお」	9	2,243	51.6%
6	28	(株) ラブ	福岡市	飲食	もつ鍋店「おおやま」	8	3,205	48.0%
7	23	風月フーズ(株)	福岡市	飲食	高速道路SA・空港でのフードコートレストラン経営、「グルメ風月」	12	4,284	45.9%
8	45	(株) 樹元	宮崎県延岡市	飲食	辛麺屋「樹元」	2	2,219	42.1%
9	50	(株) O・B・U Company	福岡県筑紫野市	飲食	「松介：まつすけ」「HOTARU：ほたる」「MOKKEI」など	9	2,000	40.0%
10	13	※ (株) 庄屋フードシステム	長崎県佐世保市	飲食	和食レストラン「庄屋」「雑魚屋」、天ぷら専門店「那かわら」	3	7,520	39.3%

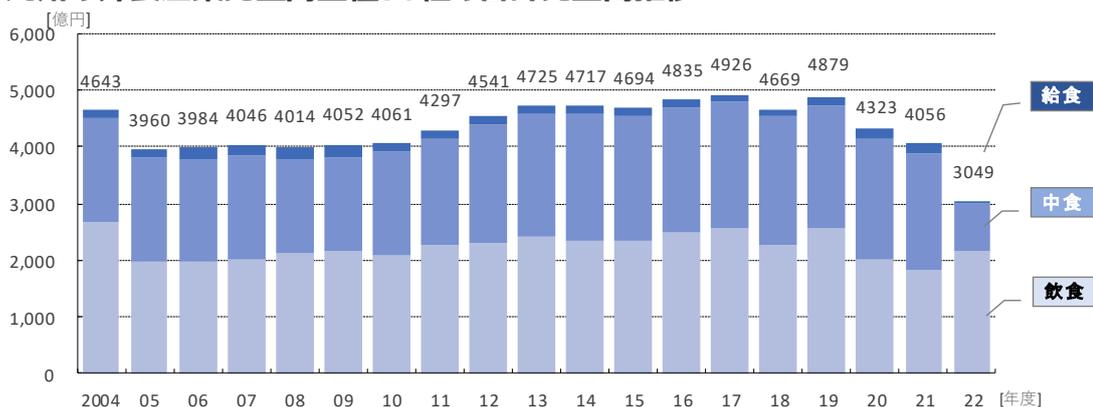
(売上高には推定値を含む)

※ (株) 庄屋フードシステムは、2021年9月1日付で(株) ハルフードシステムを吸収合併している。

3. 売上高上位50社の合計売上高推移

九州の2022年度の外食産業合計売上高合計(売上高上位50社)は前年度比24.8%減の3049億500万円と、3年連続で減少。2023年1月にプレナスが実質本店を福岡市から東京都へ移転した影響が大きく、2010年度調査以降、過去最少となった。

■九州の外食産業売上高上位50社の合計売上高推移



※売上高合計は千万円の位を四捨五入している

■売上高上位50社の事業形態別売上高推移

		飲食	中食	給食	合計
2019年度	合計売上高	258,067	216,633	13,200	487,900
	社数	36	13	1	50
2020年度	合計売上高	202,640	212,959	16,651	432,250
	社数	34	13	3	50
2021年度	合計売上高	185,172	203,764	16,702	405,638
	社数	33	14	3	50
2022年度	合計売上高	216,204	83,094	5,607	304,905
	社数	36	12	2	50

※ 集計企業は、毎年入れ替わりがある

(単位 上段：百万円、下段：社)

業態別にみると、「飲食」が前年度比16.8%増の2162億400万円(構成比70.9%)と3年ぶりに増加。2年ぶりに2000億円台を回復した。3月にまん延防止等重点措置による営業制限解除による反動増に加えて、コロナ禍での物価高に対する価格転嫁による単価改善などが要因となった。「中食」は同59.2%減の830億9400万円(同27.3%)と、プレナス移転の影響もあり、4年連続で減少した。前年度のプレナスを除いた「中食」の合計売上高からは16.1%増と、2年ぶりに前年度を上回り、800億円台を回復した。プレナスを除く「中食」からの増収要因としては、外食同様で、行動制限の緩和が進んだことで、テナントとして入居しているショッピングモール等の集客が増加したことに起因して、増収に至ったとする理由が多かった。

4. 売上高・損益の推移

売上高上位 50 社のうち、前年度との比較可能な 48 社の売り上げ動向を見ると、「増収」企業は前年度比 19 社増の 39 社となり 4 年ぶりに 30 件台となった。一方、減収企業は同 18 社減の 9 社。業態別に増収企業をみると、「飲食」が前年度比 16 社増の 31 社、「中食」は同 2 社増の 6 社で、両事業ともに営業自粛要請の解除があり、外食需要の増加が起因した。

他方、損益が悪化した企業（「減益」「赤字転落」「赤字拡大」の合計）は 15 社（構成比 31.3%）で前年度比 5 社増。一方、損益が改善した企業（「増益」「黒字転換」「赤字縮小」の合計）は前年度比 2 社増の 28 社（同 58.3%）となったのは注目すべきだ。行動制限の緩和が進んだことで、売上が回復してきたほか、期中は徹底した経費削減に加え、営業時短要請の協力にとまなう時短協力金から損益が改善したという企業が多くみられた。

■売上高上位50社の売上高/損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	13 (7)	4 (3)	11 (3)	2 (1)	5 (1)	0 (1)	4 (4)	39 (20)
減収	5 (6)	1 (5)	2 (2)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	1 (7)	9 (27)
合計	18 (13)	5 (8)	13 (5)	2 (4)	5 (5)	0 (1)	5 (11)	48 (48)

※ 2020年度は前年度との比較が困難な4社を除く46社、2021年度は同様に2社を除く48社を分析した

■飲食事業者の売上高/損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	10 (6)	3 (2)	9 (1)	2 (1)	5 (1)	0 (1)	2 (3)	31 (15)
減収	3 (4)	1 (3)	0 (0)	0 (3)	0 (3)	0 (0)	1 (5)	5 (18)
合計	13 (10)	4 (5)	9 (1)	2 (4)	5 (4)	0 (1)	3 (8)	36 (33)

※ 2020年度は前年度との比較が困難な2社を除く32社、2021年度は33社を分析した

■中食事業者の売上高/損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	2 (1)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	6 (4)
減収	2 (1)	0 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	4 (7)
合計	4 (2)	1 (4)	3 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	2 (2)	10 (12)

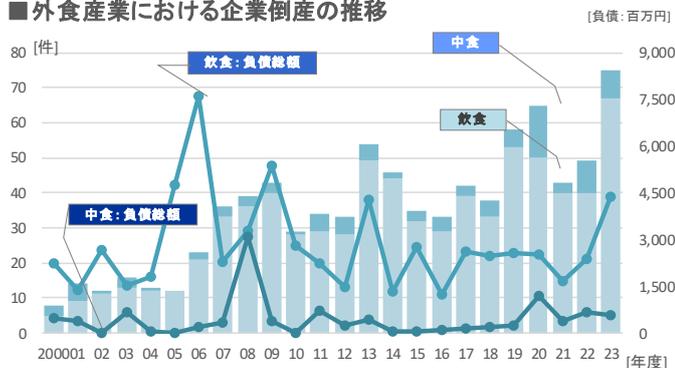
※ 2020年度は前年度との比較が困難な2社を除く11社、2021年度も同様に2社を除く12社を分析した

5. 倒産動向

九州における外食産業の倒産（法的整理のみ、負債 1000 万円以上）件数をみると、2022 年度は前年度比 14.0%増（6 社増）の 49 件だった。内訳別の飲食（40 件、前年度横ばい）が前年と同数となったものの、中食（9 件、前年度比 200.0%増）は前年度を上回った。

負債総額は同 48.6%増の 30 億 7700 万円。負債額が 3 億円を上回ったのは、マルゼンラボラトリー（株）（福岡県久山町、2023 年 3 月自己破産申請、負債約 3 億 2400 万円）の 1 件のみ発生し、同 1 億円未満の倒産が 39 件（構成比 79.6%）と小規模倒産が中心となった。

■外食産業における企業倒産の推移



2022年度は2022年4月から2022年10月までの7カ月間
倒産件数は計30件（うち「飲食」23件、「中食」7件）

なお、2022 年度における外食産業の倒産のうち、「新型コロナウイルス関連倒産」は 43 件発生した。うち、飲食店が 40 件、中食が 3 件発生していることから近時は倒産した企業の大半が新型コロナの影響を受けて倒産しているものと推察される。

まとめ

売上高上位 50 社の合計売上高は前年度比 24.8%減の 3049 億 500 万円と 3 年連続で減少し、2010 年度調査以降、過去最少となった。減収要因として 2021 年度まで 19 年連続トップとなっていた (株) プレナスが実質本店を福岡市から東京都へ移転した影響が大きかった。一方、「飲食」「外食」では 2022 年 3 月に 2 回目のまん延防止等重点措置による営業制限解除などによる行動制限の緩和が進んだほか、物価高騰による値上げから顧客の単価改善などを背景として、前年度比増に転じている。

また、プレナスを除く「中食」の合計売上高も前年度比 6.1%増となった。三密回避を目的に導入されたテイクアウトやデリバリーの台頭が後押しとなったことに加えて、食品スーパー、コンビニエンスストアで惣菜や弁当などが充実したことなどが増加要因であろう。

損益面では食材仕入価格上昇や光熱費、人件費などのコストアップもあり、「損益が悪化した企業」は 15 社と前年度比 5 社増加し、「損益が改善した企業」は 28 社と同 2 社にとどまった。商品単価アップによる顧客離れを警戒し、コスト上昇分の価格転嫁が十分ではなかったことが要因と考えられる。

倒産件数は 2021 年度 (43 件) を 6 社下回り、49 件を記録した。うち、「新型コロナウイルス関連倒産」は 43 件発生。倒産した企業の大半が新型コロナの影響を受けた。これまでは、政府・自治体、金融機関は実質無利子・無担保貸付や、雇用調整助成金、休業支援金・給付金をはじめとする各種資金繰り支援を進めていたことから、倒産件数は大きく抑制されていたが、大半の事業者が本格的なコロナ関連融資の返済が開始されており、倒産だけでなく、さらなる休廃業・解散の増加も予想されている。足元では、インバウンド需要の回復もあって外食産業の客足回復がすすんでいる。

一方、原材料価格や燃料費の高騰から商品の値上げが相次いで発生し、値上げによる消費者離れを懸念材料とする企業も多く存在する。飲食店を中心とする「個人関連消費」が低迷する可能性も高いことから、2023 年度も外食産業の苦境は続くと思われる。動向には注視する必要がある。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当：秋山 進

TEL : 092-738-7779 FAX : 092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

次ページに続く

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング上位11~50社(2022年度)

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
11	21	(株)むすんでひらいて	福岡県新宮町	中食	量販店内での惣菜・弁当小売	8	8,115	-
12	12	昭和フード(株)	佐賀市	飲食	「マクドナルド」FC	3	7,794	10.6%
13	14	※ (株)庄屋フードシステム	長崎県佐世保市	飲食	和食レストラン「庄屋」「雑魚屋」、天ぷら専門店「那がむら」	3	7,520	39.3%
14	13	(株)イトスタイル	宮崎県小林市	飲食	「いきなりステーキ」「ホホラマーマ」「サーティワンアイスクリーム」「ピピン亭」各FC	2	7,145	28.7%
15	19	J R九州フードサービス(株)	福岡市	飲食	創作料理店「うまや」、居食店「驛亭」、駅構内レストラン	3	5,728	37.2%
16	15	(株)ポールスター	福岡市	飲食	「カツカツフライドチキン」「サウザンFC	6	5,169	3.1%
17	16	※ (株)古市庵	福岡県久留米市	中食	持ち帰り寿司店「浪花古市庵」「おにぎり畑 晴れ晴れ」「おむすび紀行」	4	5,113	7.9%
18	33	(株)タケノ	福岡市	飲食	居酒屋「竹乃屋」「博多ピストロタケノヤ」	3	4,898	86.5%
19	18	(株)プレنز	沖縄県浦添市	中食	持ち帰り弁当店「ほっともっと」、定食屋「やよい軒」FC	3	4,552	5.3%
20	20	※ (株)梅の花 p l u s	福岡県久留米市	中食	持ち帰り惣菜・弁当店「梅の花」	4	4,416	9.4%
21	17	九州惣菜(株)	北九州市	中食	量販店内惣菜店「彩花」	9	4,412	▲0.7%
22	23	(株)寿福産業	鹿児島市	飲食	和食店「ふく福」、黒豚料理店「寿庵」、ラーメン店「十八番」、回転寿司店「めっけもん」	3	4,367	24.8%
23	29	風月フーズ(株)	福岡市	飲食	高速道路SA・空港でのフードコート・レストラン経営、「グルメ風月」	12	4,284	45.9%
24	26	九州産交リテール(株)	熊本市	飲食	高速道路SAでのレストラン経営、熊本城桜の馬場城彩苑内レストラン	9	3,841	14.0%
25	22	昭和食品(株)	北九州市	中食	量販店内惣菜店「味菜」	12	3,633	▲1.7%
26	41	(株)ラブ	福岡市	飲食	もつ鍋店「おおやま」	8	3,205	48.0%
27	-	(株)デイズプランニング	沖縄県那覇市	飲食	ステーキ店「やっばりステーキ」「やっばりちゃん」「そばよし」	7	3,019	134.6%
28	25	(株)イワタダイナース	福岡市	中食	宅配ピザ・お好み焼き店「ピザクック」	2	3,002	▲11.0%
29	-	森永食研(株)	大分市	給食	老健施設、医療法人などを主要得意先とした冷凍食品の製造	3	2,913	76.7%
30	-	(有)久松	福岡県粕屋町	中食	インターネット通信販売による冷凍おせち	4	2,905	6.7%
31	30	(株)坂本	熊本市	飲食	回転寿司店「九州すし市場」「ばんばん寿し」	7	2,843	▲1.4%
32	31	昭産商事(株)	北九州市	中食	量販店内惣菜店「味の四季菜」	2	2,738	▲2.5%
33	37	(株)昭和イーティング	福岡市	給食	施設内の飲食サービス業務の受託運営	10	2,694	4.4%
33	39	(株)桜家	北九州市	飲食	「焼肉さんく」「かつや」「丸源ラーメン」FC	3	2,694	18.7%
35	32	M i コーポレーション(株)	福岡市	飲食	お好み焼レストラン「どんどん亭」、ファーストフード店「どんどんまるや」	5	2,459	▲10.0%

(売上高には推定値を含む)

※ (株)イーティングと関係会社の(株)むすんでひらいては、2021年に決算期を2月から8月に変更したため、前年比伸び率は算出できない。

※ (株)古市庵は、2022年5月に(株)梅の花 p l u s と合併し、商号を(株)古市庵プラスに変更しているものの、集計年度の関係からそれぞれ旧商号で掲載している

※ (株)庄屋フードシステムは、2021年9月1日付で(株)ハルフードシステムを吸収合併している。

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
36	-	(株)Be bloom	福岡市	飲食	居酒屋「あや鷄」	2	2,371	115.5%
37	34	(株)うちだ屋	福岡市	飲食	食堂「うちだ屋」「麺勝」、セルフうどん店「めん勝」	9	2,349	4.0%
38	38	トリゼンダイニング(株)	福岡市	飲食	水たき料亭「博多華味鳥」	9	2,261	▲27.5%
39	-	(株)ハーバーハウス	福岡市	飲食	居酒屋「釣船茶屋ざうお」	9	2,243	51.6%
40	-	(株)例元	宮崎県延岡市	飲食	辛麺屋「例元」	2	2,219	42.1%
41	-	(株)グラノ24K	福岡県岡垣町	飲食	レストラン経営「ぶどうの樹」	3	2,218	34.9%
42	44	(株)ジェイシーシー	沖縄県糸満市	飲食	沖縄地料理店「龍潭」「波照間」	5	2,210	11.3%
43	-	(株)稚加榮	福岡市	飲食	博多料亭「稚加榮」	3	2,205	29.7%
44	49	(株)エヌ・エヌ・ドウ	福岡市	飲食	「焼肉 蔵元」、「しゃぶしゃぶ温野菜」FC	2	2,194	14.9%
45	-	(有)キリムラ	大分県大分市	飲食	焼肉・韓ダイニング「垂李蘭別邸」、個室焼肉「御肉匠庵春日那」	3	2,174	20.9%
46	-	(株)雄和	熊本市	飲食	焼肉レストラン「彩伊」、和風ダイニング「土房」	7	2,169	3.3%
46	-	(株)デリバリー九州	熊本市	飲食	宅配ピザ「ピザポケット」、「串カツ田中」FC	3	2,169	24.9%
48	-	(株)ヤマナミ麺芸社	大分県大分市	飲食	「厚盛太麺太一商店」、「味噌乃家(みそのや)」	9	2,079	6.0%
49	-	(株)O・B・U Company	福岡県筑紫野市	飲食	「松介：まつすけ」「HOTARU：ほたる」「MOKKEI」など	9	2,000	40.0%
50	-	(株)十徳	熊本市	飲食	「十徳や」「さかな市場」「魚粋」	3	1,950	31.9%

〔売上高には推定値を含む〕

〔前回順位に入っていない企業は前年度順位「-」としている〕

〔前年度比売上高伸び率を算出できない企業は「-」としている〕